

観光資源に関する保全
(前年度(R3 年度)からの継続)

様式第1号(第6条関係)

令和4年度 P P D C Aサイクル表

台帳番号 令和4年度 5 番 当初起案日 令和4年1月13日

所 管 観光資源等保全特別委員会 担当者 職・氏名 主事 中野 翔太

サイクル	年 月 日	内 容 等
計画 Plan	4.1.13	観光資源等保全特別委員会として、今任期中に取り組む目標の1つとして、次のとおり設定した。 誰が：観光資源等保全特別委員会が いつ：委員会任期終了（R4.9月頃）までに どこで：— 何を：景観を破壊する乱開発や水資源の保全について なぜ（何のために）：安心・安全な市民生活を保障し、温泉や観光資源を保全し、地域独自の文化を守るため どうする：調査・研究、助言・提案する。
手順・ 経過 Process	4.1.13 4.2.10 4.5.12 4.7.4～7.5 4.7.14	委員会を開催し、委員会で取り組む目標を設定した。 山中浄水場及び七日市送水ポンプ場の現地視察を行った。 有識者との意見交換会を実施し、廃業施設の対策に有効と思われる施策や他市における廃業施設対策の先進事例や基金を活用した取組内容などについて解説を受け、調査を行った。 岐阜県高山市、下呂市にて行政視察を実施。 委員会を開催し、入湯税の状況や、DMOの事業内容について当局から説明を受けた。また、これまで行った観光資源等保全に関する調査・研究の結果をもとに、提言書を提出することについて、協議を行った。
実行 Do	4.8.10 4.8.22 4.8.29 4.9.26	委員協議会を開催し、観光地としての温泉地の維持・発展のための提言書（案）の確認を行った。 委員会を開催し、委員に提言書の最終確認を行った。 議長に提言書を提出した。 市長に対し提言書を提出した。
検証 Check		
改善 Action		